

1 山中湖 TAKALab 宝ポ

住民が自ら「山中湖村ならではの暮らしの魅力」について、きちんとして向き合い、考え、議論して、まちづくりを進める活動が始まります

2 こんなこと思ったことありませんか？

1. 山中湖村のことに興味がある

村の宝をもっと知りたい。



村の歴史や自然に興味がある。

村のいろんな人と話したい。



2. まちづくりに興味がある

村を活性化したい。

地域をおもしろくしたい。



もっと快適に暮らしたい。



まちづくりを行うためには、まず、地域についての理解を深めることが大切です。村の自然や歴史についての興味から、日頃の暮らしのこと、ちょっとした疑問や好奇心に気が付いたら、行動を起こしてみましょう。

5 コア施設（山中湖情報創造館）でできること

コア施設である山中湖情報創造館は、宝の研究、データベースの管理や情報発信のとりまとめを行います。また、村の勉強会等の宝に関する定期的なイベントを開催するなど、活動拠点となります。

1. 村の宝を教える

「人に教えたい」「伝えたい」あなたの知っている宝の情報を持ち込んでください。

2. 村の宝を知る

「村について知りたい。」「村の歴史に興味がある」ならば、宝の情報を見に来てください。

3. 宝の活動に参加する

年間を通して開催されるワークショップや座談会などの活動に参加してください。

4. 仲間づくり

イベント等を通して共通の目的や、様々な特技を持ったまちづくりの仲間を見つけましょう。

5. まちづくり

興味がでてきたら、村内外のまちづくりの取り組みについて調べたり、まちづくりに挑戦しましょう。

お問い合わせ先

山中湖情報創造館 〒401-0502
山梨県南都留郡山中湖村平野 506-296
電話 0555-20-2727

山中湖村 企画まちづくり課 〒401-0595
山梨県南都留郡山中湖村山中 237-1
電話 0555-62-1111

2016.3月

3

時代の変化に対応した持続的なまちづくりを進めるためには、村民の故郷に対する想いや、愛着がなければ一過性で定着しない事業となってしまう恐れがあります。山中湖村では第4次長期総合計画に基づき、地域住民が地域資源を保存、育成、

展示しながら地域社会の発展に寄与することを目指すエコミュージアムの理念をとりいれたまちづくりを推進した計画を策定しました。宝ポは、この計画に示された住民が主体となって宝を使ったまちづくりに挑戦する活動を指します。

宝ポは、先人たちが築いてきた山中湖村を引き継ぎ、さらなる村の発展を遂げるために、村民がふるさとの豊かな自然、文化、歴史に誇りと愛着を持ち、力を合わせて新しいまちづくりに取り組むことを目的としています。

宝ポがめざすもの

「夢あふれる 明るい 豊かな 山中湖村の実現」（郷土愛にあふれた、コミュニティや経済が活性化した村）を基本理念として、図に示した5つの行動指針を活動の柱として、誰もが「山中湖村に生まれて、暮らして、来て良かった」と思えるようにすることを目標としています。

郷土愛にあふれる

コミュニティと経済が活性化した

基本理念

夢あふれる 明るい 豊かな 山中湖村の実現
～村民が心をつなげて、夢あふれる山中湖を築いていく姿を次世代に伝える～

目標

誰もが

山中湖村に生まれて、暮らして、来て、良かった!!

と、思える村

行動指針

1. まちづくりを動かす
「人材育成」

2. 地域の文化を継承する
「山中湖村学の充実」

3. むらの活力となる
「観光・産業の振興」

4. むらの知名度を高める
「情報発信の充実」

5. 次世代へ引き継ぐ
「宝の保全・基盤の整備」

組織



村民

↑ 行政 + 学識者のサポート

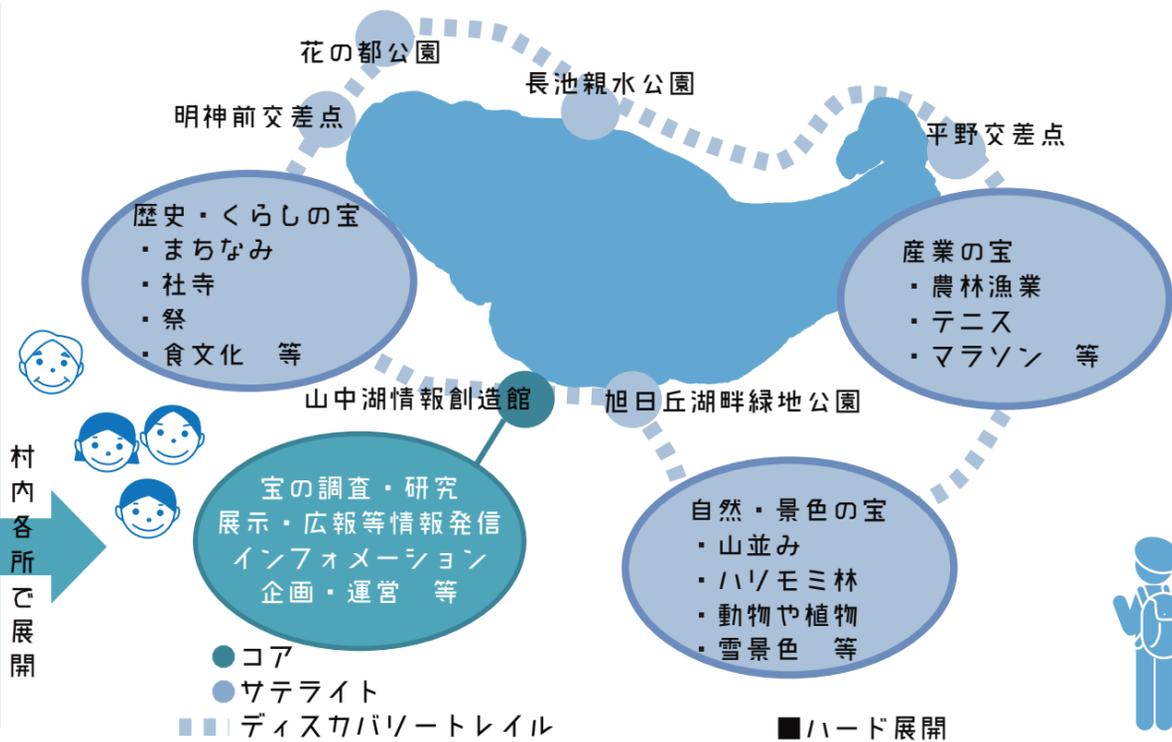
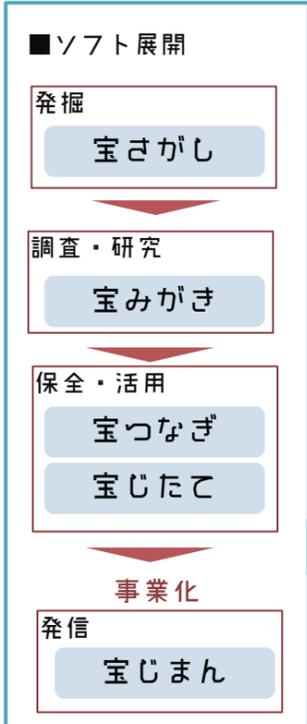
↑ 事業者との連携

宝とは？

山中湖村の自然や景観、歴史、文化+

普段の暮らしの中で、教えたい、残したい、自慢できる、記憶に残っているモノやコト
(学術的な視点のみでなく住民ならではの視点：伝承、くらしの風景等)

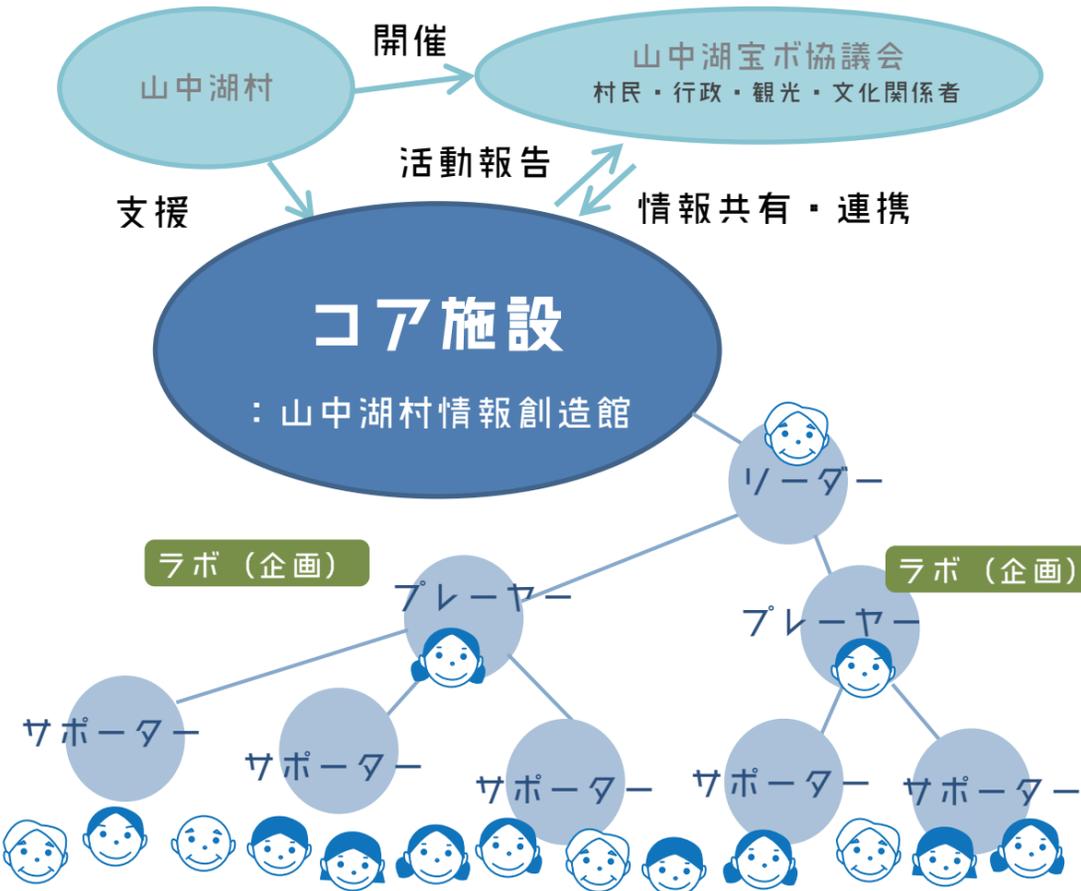
村全体が
山中湖宝ボミュージアム



山中湖村らしさを尊重するため、山中湖村の宝を発掘して、保全、活用を試行しながら、地域学習や観光等への事業化を図ります。コア施設である山中湖情報創造館を拠点として、村内の主要な場をサテライト（衛星）としてディスカバリートレイル（導線）で結ぶことで、村全体を宝の展示施設とみなして、宝を村内外に紹介していきます。

宝ボの 展開イメージ

宝ボの 運営体制



村は宝ボを技術面や資金で支援します。行政や村の観光や学習等に関連した事業者、団体と情報共有して活動を展開するために、関係機関からなる山中湖宝ボ協議会を設置します。

山中湖村情報創造館（コア施設）は、村民の誰もが、参加できるための宝ボの窓口であり、主要な活動の場として機能します。村民は、みんなが研究員として参加でき、リーダー（活動の統括）、プレーヤー（各事業を主体的に行う人）、サポーター（できることで協力する人）等の仲間が集まり、企画したまちづくりに挑戦します。

様々なまちづくりの取り組み、人と人をつなぎ、体制ができます

村民みんなが研究員

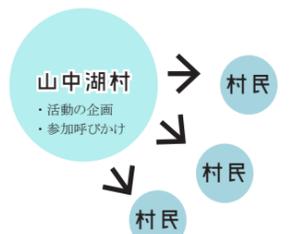
ラボラトリー方式

考えたまちづくりの企画を仲間と実験しながら実現させる。

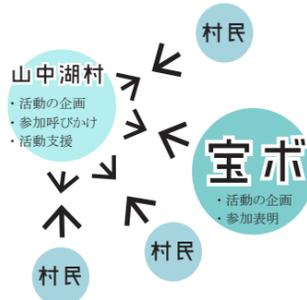
宝の勉強会、村の飲食店マップづくり、宝のガイドツアー、郷土料理教室、村の特産品開発など、すでに様々な取り組みアイデアが挙がっています。これらの宝を使ったまちづくりのアイデアを企画して、挑戦していくのが、宝ボのラボラトリー方式です。

推進体制の移行

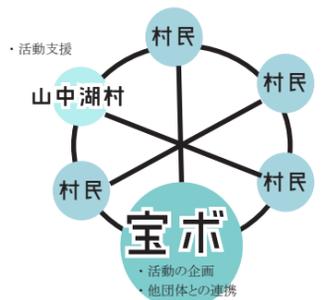
推進体制は、村民主体のまちづくりを進めるため、初期には村が運営主体となりますが、試行期からは徐々に村民に活動の主体を移行します。



初動期
平成 25 ~ 27 年度



試行期
平成 28 年度 ~



実践期